

Q1 3. レッサーパンダ

解説 ペンギンはかかとを地面に着けず指先で歩き、アミメキリンもかかとを地面に着けず、蹄と呼ばれる私たちの爪の部分で歩いています。レッサーパンダは後足だけで立つことができるのを知っている人も多いかもしれませんが、かかとを着けて歩けるのが理由だとわかりますね。

Q2 5. ニホンザル

解説 シンリンオオカミの上の歯の門歯は6本です。これはアライグマやタヌキも同じです。シカは上の歯に前歯がないので、上の歯の門歯は0本です。下の歯の門歯は8本あります。ヒトと同じ、上の歯の門歯が4本なのはニホンザルです。全部の歯の数もヒトと同じ32本で、子ザルの歯は乳歯から永久歯に生まれ変わります。

Q3 9. イワトビペンギン→ジェンツーペンギン→フンボルトペンギン→キングペンギン

解説 キングペンギンが大きいことはわかりやすいですが、他のペンギンたちの大きさを考えたことはありますか？特にジェンツーペンギンとフンボルトペンギンは見た目も同じくらいの大きさですので、わかりづいかもしれませんが、ホネを見てみるとくちばしの形や長さが違うのがわかると思います。

Q4 10. 足の指の数

解説 シカもキリンもヤギも足の指の数は2本です。そして、この動物たちはひづめを持っています。ひづめが偶数の数の動物を偶蹄類といいます。偶蹄類は反すう（一度飲み込んだ食べ物を再び口の中に戻し、よくかんでからまた飲み込むこと）する動物が多く。シカ、キリン、ヤギも反すうします。キリンの首をよく見てみると食べたものを口に戻すのが見えるかもしれません。

また、ツノの数はみんな2本に見えるかもしれませんが、キリンのツノは3本または5本とされています。つのはエゾシカのようにオスに生えるイメージが強いかもしれませんが。ヤギのツノはメスにも生えます。シカのツノは1年ごとに生え変わり、季節によって見た目が変化するのによく観察してみましょう。
ヒトとよく似ていますが、オスのニホンザルの犬歯はとても大きいです。ホネを見て自分の歯と比べてみましょう。

Q5 12. タヌキ

解説 裂肉歯はタヌキの方がするどくなっています。犬歯で肉をかみ切るイメージがあるかもしれませんが、肉食動物はほとんど裂肉歯を持っており、肉や骨をかみちぎるのに使います。犬歯は獲物をつかまえる時に使います。タヌキとアライグマは見た目が似ていますがよく見ると全然違うので、よく観察してみてください。

おまけ

1	2	2	8	8	8	11	11	3	3	3	2	2	2	4	6	6	6	6
1	1	2	8	11	11	11	10	4	3	4	3	2	2	4	4	6	6	6
4	4	8	8	11	11	10	10	4	3	4	3	3	2	4	4	6	6	6
4	7	7	8	8	10	4	4	5	3	5	4	4	5	4	4	4	6	6
6	6	7	8	9	6	6	6	6	3	6	6	6	6	5	4	4	7	6
6	6	7	9	9	6	12	6	6	3	6	6	5	6	5	5	4	7	6
6	6	9	7	7	12	7	6	7	3	6	6	6	5	7	7	5	7	6
6	6	9	13	12	7	12	6	10	3	6	6	5	7	5	7	9	7	6
6	6	9	13	13	7	7	10	11	11	12	12	6	7	7	7	9	7	6
4	2	9	11	11	7	10	11	11	11	12	6	7	7	7	9	7	6	
4	2	9	11	11	10	7	10	8	11	12	12	12	7	7	7	9	7	7
4	2	9	11	10	7	7	8	8	11	12	13	13	10	7	10	9	7	8
2	4	9	9	9	5	5	5	3	11	10	13	2	2	10	13	9	8	8
2	1	4	3	8	8	8	8	3	11	10	13	2	10	11	9	13	8	8
2	1	1	4	3	8	8	8	3	11	10	13	2	2	9	13	13	8	
2	1	1	1	4	3	8	8	3	11	10	13	2	9	11	13	13	13	8
2	1	8	1	1	1	3	8	3	11	10	13	9	11	11	13	13	13	8
1	1	8	8	8	8	8	3	3	11	10	10	13	13	13	13	13	13	8

解説 「伝えるのは、いのち」で出てくるのは、旭山動物園のロゴマークでした。旭山動物園では、動物たちが生き生きと動いている姿をたくさん見ることができます。動物たちは私たちと同じ大地に生きています。動物たちと生きていくために何ができるのか考えてみてください。

